

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

正しくないのかもしれないけど…

2024年4月、3年に一度の障害福祉サービスの報酬改定。改定内容に、あーだ・こーだと一喜一憂する。

くまもと障害者労働センターの法人全体の2024年度予算は1億8千万円。

その内、約9千万円が商売による売上。

(菓子・弁当製造販売、柑橘類の販売、せっけんの製造販売など)

残りの半分の9千万円は、障害福祉サービスの給付費(補助金)でまかなうことになる。

僕らが安定的に運営していくためには、障害福祉サービスの給付費(補助金)はなくてはならない収入となっている。

高い報酬を得るにはどうするのか？
どうやって加算を取っていくのか？
より高い報酬を求め、報酬改定の内容をにらむ。
望めば望むほど…。

しかしこれでいいのだろうか？
制度に沿った画一的な事業所になってしまわないか…？

僕らの理念は？
なぜ、約40年前にくまもと障害者労働センターはできたのか？

報酬改定、高い報酬を得るために
僕らは大切な理念を後回しにしてしまっていないか？

障害や能力のあるなしで分けられる社会へ

僕らは、健常者と障害者、職員と利用者という縦の関係を否定する。

そして、対等で水平な関係をもとに、給付金(補助金)に依存せず、商いで経済的に自立した事業を築くことを目指す。

制度がない中ではじまり、
制度が後追いででき、
制度と付き合いながら、
今の『くまもと障害者労働センター』がある。

今にも、目の前の制度、給付金(補助金)に飲み込まれていきそうになる。制度に沿うことが、きっと『正しい』ことなんだろうと思う。

僕らは、
正しくないのかもしれない。けど…。

それでも、くまもと障害者労働センターからのアンチテーゼ!!!!!!

『ともに、対等』を求めつづけていく。



ようこそ、おれんじ村へ

新人系紹介



今年度、おれんじ村に3名の新入社員を迎え入れました。これから徐々におれんじ村の仕事にも慣れて、みんなと仲良く和気あいあいで仕事に遊びに楽しくしてもらいたいです。3人の新人さんに「私の夢」というテーマで書いてもらいました。

🍊 石原 陽平さん

いしはら ようへい

5月1日から労働センターで働くことになりました。石原陽平と言います。よろしくお願ひします。私は今までイルカの会で餃子の販売や製造に携わってきました。その経験を活かして、お客様に販売や接客を通して、笑顔で接していけるよう頑張りたいと思います。

私の夢としては、仕事をしながら、音楽活動も充実させていきたいと思っています。



🍊 鈴木 元嘉さん

すずき もとか

①大阪へ引っ越しをして多くの障害者のひとたちといっしょに仕事がしたい。活動がしたい。

②えんがあれば、NHK でバリバラのアシスタントの仕事がしたい!!



🍊 小松 絢佳さん

こまつ あやか

♪ちょっと恥ずかしがりやさんです。次回お楽しみに!!



編集後記

こんにちは。3年に1度の報酬改定という事で、この施設でも国の補助金と自分達が日々仕事した売上金で施設を運営しています。僕の思いは、国の補助金無しで、給付金に頼らず自分達みんなの力を合わせて、日々の仕事の売り上げを1円でも多く売り上げて、行きたいです。それには、休まず元気で毎日出勤して仕事ができる事だと思っています。ですが、自分達が営業しても仕事に結びつかない場合もあります。このつとめと営業して、顧客を増やしていきたいと思っています。

新しい仲間が、新たにおれんじ村に3人増えました。一日も早くおれんじ村に慣れていって、新しい戦力として、仕事に遊びに励んでいって欲しいと思います。

6月16日(日)は父の日です。お父さんへ、ギフトセットのご注文をお待ちしています



IT部 E